

セゾン資産形成の 達人ファンド

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第18期（決算日 2024年12月10日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月10日）

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第18期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当ファンドは、国内外のそれぞれの地域に強みを持ち、安全性や長期的な収益力を基準に選別投資を行うファンドへ幅広く分散投資をすることにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期間も変わらず、この方針に基づき運用を行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第18期末(2024年12月10日)	
基準価額	44,473円
純資産総額	362,037百万円
第18期	
騰落率	20.7%
分配金(税込)合計	－円

- 騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「商品ラインアップ」⇒「セゾン資産形成の達人ファンド」⇒「運用状況・レポート」⇒「レポート・動画レポート」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客さま窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

【ホームページ】 <https://www.saison-am.co.jp>

【電話番号】 03-3988-8668

【営業時間】 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、厳選したアクティブファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄

主な役割 投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 18年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信(株)入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年からマルチマネージャー運用部長、2024年から現職。



◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2024」 優秀ファンド賞を受賞しました。

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&Iファンド大賞2024」において「投資信託10年部門外国株式コア」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は11年連続となります。



「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」 最優秀ファンド賞を受賞しました。

「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 フレキシブル型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は10年連続となります。

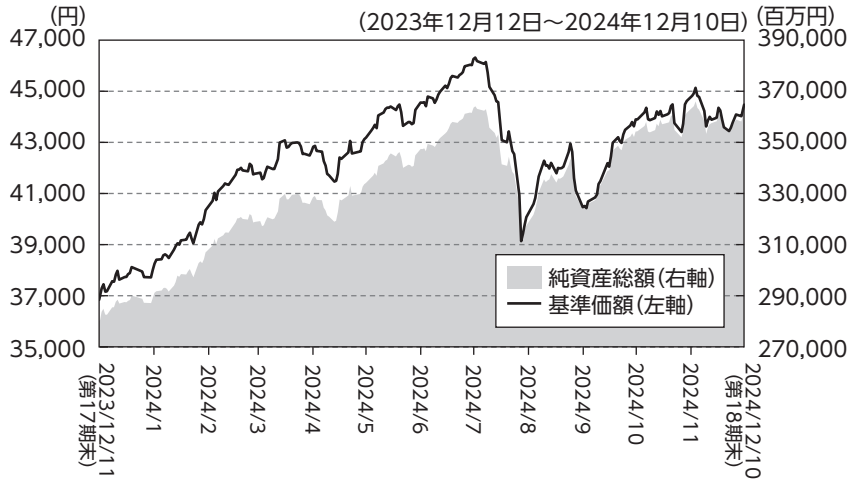


「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」 優秀ファンド賞を受賞しました。

「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」において、「国際株式型(グローバル)部門」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示していません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

**ここをCHECK!****【基準価額の主な変動要因】**

当期は、全ての株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドのなかでは、欧州の株式に投資する「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」が特に基準価額の上昇に貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)」、「スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)」が銘柄選択効果により参考指数を上回りましたが、上記以外のファンドは、銘柄選択の影響により参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
対ドルでの為替レート (円安)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (米ドル)
アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ (米ドル)
FSSA アジア・パシフィック株式ファンド (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-mtx サステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-US エクイティ・クオリティ・グロース (米ドル) ※2
スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド (米ドル) ※1

期中騰落率
20.7%

※1：2024年3月25日に組み入れ開始 ※2：2024年9月27日に組み入れ開始

2024年11月28日より、「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」は「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」に、「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンド」は、「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」に名称が変わりました。なお、両ファンドとも運用方針に変更はありません。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2023年12月12日~2024年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	243円 (133) (95) (15)	0.572% (0.313) (0.223) (0.036)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	243	0.572	

期中の平均基準価額は42,412円です。

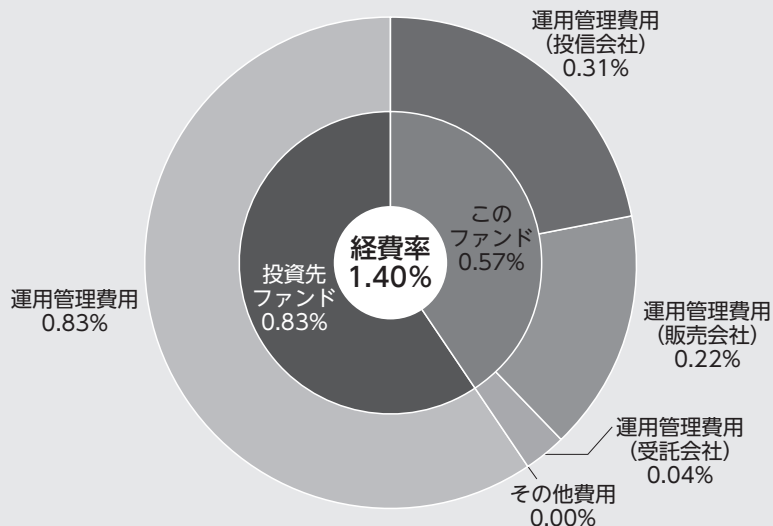
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

**ここをCHECK!**

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

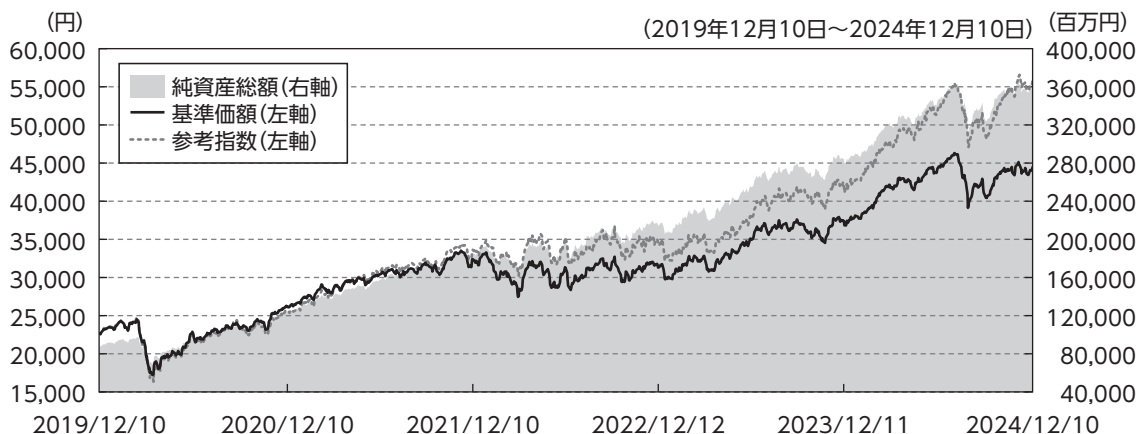
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.40%です。



経費率(①+②)	1.40%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.83%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

最近5年間の基準価額等の推移



	2019年12月10日 決算日	2020年12月10日 決算日	2021年12月10日 決算日	2022年12月12日 決算日	2023年12月11日 決算日	2024年12月10日 決算日
基準価額 (円)	22,649	26,279	32,402	31,475	36,838	44,473
期間分配金合計(税込) (円)	-	-	-	-	-	-
基準価額の騰落率 (%)	-	16.0	23.3	△2.9	17.0	20.7
参考指数の騰落率 (%)	-	13.4	30.9	2.2	22.0	33.4
純資産総額 (百万円)	87,718	123,813	185,489	215,903	280,280	362,037

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・グラフの参考指数は、2019年12月10日の値が基準価額と同一になるように計算しております。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。



ここをCHECK!

<参考情報>

当期末(2024年12月10日)と5年前(2019年12月10日)の比較は以下のとおりです。

基準価額の騰落率(5年)	96.4%
参考指数の騰落率(5年)	147.0%
純資産額の増加額(5年)	274,319百万円

・騰落率は年率換算していません。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は米国を中心に上昇しました。

米国は景気が底堅く推移するなかで、金融セクターなどが上昇したほか、人工知能(AI)の普及による収益拡大期待が高まったことを受けて情報技術セクターなどが上昇しました。欧州は景気の低迷が続いているものの、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。日本は金利が上昇していくとの見方が広がったことを背景に金融セクターを中心に上昇しました。新興国は、中国が政府の景気刺激策への期待が高まって終盤に上昇したほか、AI関連投資拡大の恩恵を受けてTSMCが上昇した台湾や、経済の成長期待が維持されたインドが上昇しました。

セクター別では、AI関連投資の拡大やAI普及による業績拡大期待の高まりを受けて情報技術やコミュニケーション・サービスが大きく上昇したほか、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が広がったことを受けて金融が大きく上昇しました。

期の初めは、米国や欧州で政策金利の引き下げへの期待が高まるなかで上昇しました。その後は、米国や中国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けて上昇しました。4月には、米国で物価上昇が続くことへの警戒が高まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退して下落したものの、その後は政策金利の引き下げへの期待が維持されたことや、人工知能(AI)の普及による企業業績拡大への期待が高まったことを受けて上昇しました。8月には、米国で景気減速への警戒が高まって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月は米国とユーロ圏で政策金利が引き下げられたことや、中国で景気支援策が打ち出されたことを受けて上昇しました。10月は中東情勢の緊迫化懸念が高まったことや、米国で財政赤字の拡大懸念が高まったことを受けて、方向感のない展開となりました。11月以降は米大統領選挙でトランプ前大統領が当選したことを受けて、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がって上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

引き続き、金利が高い通貨を買って金利が低い通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、日本ではマイナス金利政策が終了し、その後も政策金利が引き上げられたものの、米国やユーロ圏での政策金利の引き下げペースが想定されていたよりも緩やかなものとなり、金利差が縮小していくとの見方が後退したことを背景に、円は対ドル、対ユーロで下落しました。ドルは米国で景気が底堅く推移するとともに、先行きに対する明るい見方が広がったことを背景にユーロに対して上昇しました。

期の初めは、日本銀行が金融緩和策を早期に縮小するとの見方が強まったことを受けて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。その後は、物価上昇が長期化するとの見方が強まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退してドルとユーロが上昇する一方で、実質賃金の伸びが低迷していることなどを背景に、金融緩和の長期化観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。3月には、日本銀行がマイナス金利政策や長期金利の抑制政策を終了したものの、同時に緩和的な金融政策を維持する方針を示したことを受けて、ドルやユーロとの金利差が縮小していくとの見方が後退して、対ドル対ユーロで円安となりました。5月には日本政府による為替介入が行われて円が上昇する局面があったほか、6月には日本銀行が金融緩和の縮小を進める方針を示したものの、ドルやユーロとの金利差が大きい状況が続くとの見方が維持されて対ドル対ユーロで円安となりました。7月には日本で金融緩和の縮小観測が高まり、7月末には政策金利が引き上げられたことを受けて円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。8月には日本の株式市場が大きく下落したことをきっかけに政策金利の引き上げ観測が後退して円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりましたが、その後は日本で政策金利の引き上げが意識されて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。10月はユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、米国で景気の先行きに対する明るい見通しが広がり、ドルとの金利差が縮小するとの見方が後退したことを受けて円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は日本で物価上昇が続いていることを背景に政策金利の引き上げ観測が高まって円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、長期の成果だけに焦点をあて、投資先ファンドを通じて個別銘柄の価値を見極めながら、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行いました。

当期は、3月に投資機会の相対的な大きさを勘案して新興国地域への目標投資比率をわずかに引き上げて、米国への目標投資比率をわずかに引き下げました。同時に、経営者の質を重視して新興国市場の株式に投資する「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」への投資を開始し、「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」、「フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ」の目標投資比率を引き下げました。また、日本株へ投資するファンドにおいて、相対的な信頼度や市場環境を勘案して「スパークス・集中投資・日本株ファンドS」への目標投資比率を小幅に引き上げ、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド」と「コムジェスト日本株式ファンド」への目標投資比率を小幅に引き下げました。

9月には米国で長期間高い成長が期待できる企業のほか、生活必需品関連企業などの利益の予測可能性が高い企業の株式に投資する「フォントベル・ファンド-USエクイティークオリティ・グロース」への投資を開始し、10月にかけて、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「バンガード 米国オポチュニティファンド」との一部入れ替えを行いました。

上記以外では目標投資比率の変更は行わず、1月にご解約が増加したことを受けて一部のファンドを売却したほかは、積立などのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、新たに組み入れたファンドや目標比率を引き上げたファンド、相対的に値動きが振るわなかったことにより目標投資比率と投資比率の乖離が大きくなったファンドを中心に購入を行いました。

今期は、米国で「フォントベル・ファンド-USエクイティークオリティ・グロース」、新興国市場で「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」の組み入れを行ったことにより、長期的な視点で企業の価値と価格の関係を重視して投資を行う一貫した方針のもとで、より幅広い投資機会を活用できるようになったと考えています。

**ここをCHECK!**

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2023年12月12日から2024年12月10日)

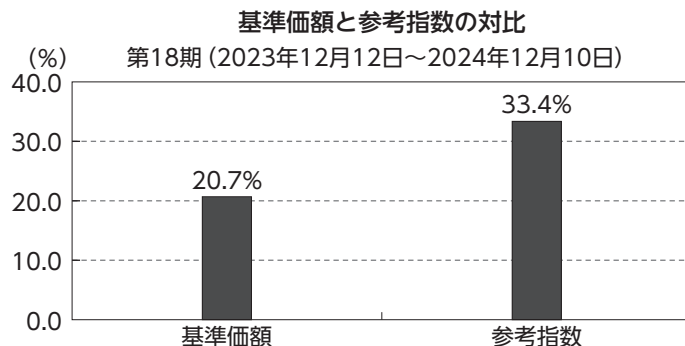
投資信託受益証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	千口 1,944,574	千円 4,750,000	千口 160,350	千円 354,999
	コムジェスト・エマージングマーケット・ ファンド90 (適格機関投資家限定)	-	-	173,026	190,000
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	482,104	3,620,000	-	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適 格機関投資家限定)	3,683	25,000	-	-
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関 投資家限定)	30,846	60,000	-	-
投資証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アイ ル ラ ン ド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	バンガード 米国オポチュニティファンド	2	3,000	7	11,300
	FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	505	13,000	-	-
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマ ージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	5,512	55,400	-	-
国内	ル ク セ ン ブ ル ク	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	アライアンス・パーンスタイン SICAV-コンセント レイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	126	6,150	409	20,850
	BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コ ア・セレクト	23	1,271	378	21,750
	フォントベル・ファンド-mtxサステナブ ル・エマージング・マーケット・リーダーズ フォントベル・ファンド-USエクイティ クオリティ・グロース	11 179	1,050 53,250	- -	- -

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込) を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第18期
	2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	34,472

- ・対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

引き続き、長期的な資産の成長だけに焦点をあて、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。長期的に資産を成長させるために重要なことは、大きく資産を減らさないことだと認識しており、そのためには価値を重視した投資を行い、高値づかみを避けることが重要だと考えています。

当ファンドでは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ複数の投資先ファンドが、長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて、価値に対して割安と考えられる場合にのみ投資を行っています。

そのうえで、地域ごとの投資比率を市場全体に対する平均的な評価を反映する時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会も活用することを目指しています。

当ファンドの騰落率は、参考指数を下回る状況が続いていますが、資産を長期的に成長させるためには、価値と価格の関係に焦点をあてて投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。また、分散投資の長期的な成果は、一時的に市場環境が逆風となっている地域や分野へも継続して投資することにより得ることができると認識しております。

よって、市場の動きを追いかけずに一貫した姿勢を維持することにこそ、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長を目指す当ファンドの存在意義があると認識しており、引き続き同じ方針で運用してまいります。

ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄

お知らせ

当期中の約款変更について

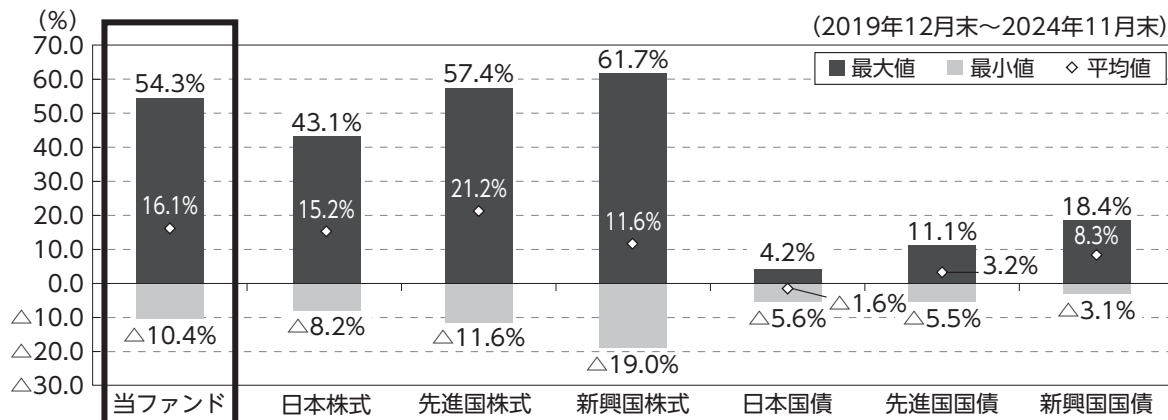
2023年12月12日から2024年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

- 2024年3月9日付
投資対象とするファンドの新規組入れのため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- 2024年9月11日付
投資対象とするファンドの新規組入れのため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。 原則として、為替ヘッジは行いません。
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。 投資信託証券については、運用実績等を総合的に勘案して、投資の対象から入れ替えや除外を行うことがあります。また、投資基準に基づいて投資対象の候補とするファンドは随時追加や除外を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。 当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)
 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)
 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)
 日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス
 先進国国債：ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックス
 新興国国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

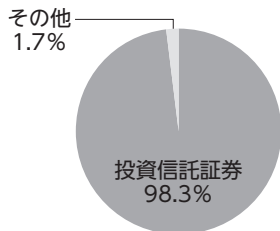
(2024年12月10日現在)

■組入ファンド

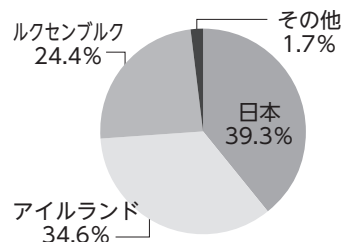
	第18期末(2024年12月10日)
	組入比率
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	23.3%
バンガード 米国オポチュニティファンド	21.3%
FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	10.9%
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.3%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	9.2%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	4.8%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	4.0%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	3.7%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	3.5%
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ	3.5%
スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	2.4%
フォントベル・ファンド-USエクイティ・クオリティ・グロース	2.3%
その他(短期金融資産等)	1.7%
組入ファンド数	12銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

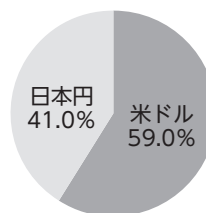
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・国・地域別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



ここをCHECK!

投資対象別に分類した組入資産の状況

■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	98.3%	12銘柄
その他(短期金融資産等)	1.7%	-
合計	100.0%	12銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	42.2%	4銘柄
欧州を中心に投資するファンド	23.3%	1銘柄
日本を中心に投資するファンド	12.5%	3銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	10.9%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	9.4%	3銘柄
その他(短期金融資産等)	1.7%	-
合計	100.0%	12銘柄

純資産等

項 目	第18期末
	2024年12月10日
純 資 産 総 額	362,037,398,081円
受 益 権 総 口 数	81,406,149,396口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	44,473円

・期中における追加設定元本額は15,287,784,036円、同解約元本額は9,966,107,094円です。



ここをCHECK!

・第18期における金額ベースの追加設定額は64,627,779,961円、同一部解約額は41,507,647,621円です。結果、第18期は差し引き23,120,132,340円の資金流入となりました。

・純資産等の前期末の状況は以下のとおりです。

項 目	第17期末
	2023年12月11日
純 資 産 総 額	280,280,111,890円
受 益 権 総 口 数	76,084,472,454口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	36,838円

組入ファンドの概要

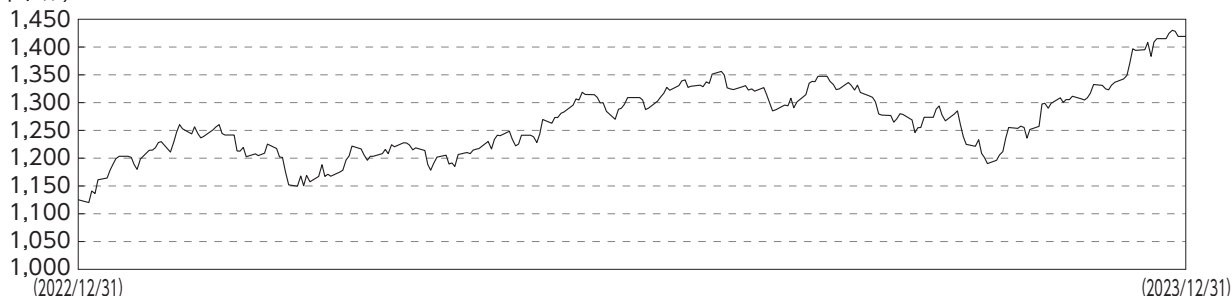
以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、30頁をご参照下さい。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	6.0
2	Tesla Inc.	2.9
3	NEXTracker Inc.	2.8
4	Alphabet Inc.	2.3
5	Flex Ltd.	2.3
6	BioMarin Pharmaceutical Inc.	2.0
7	Biogen Inc.	1.7
8	Xometry Inc.	1.6
9	Raymond James Financial Inc.	1.6
10	Jacobs Solutions Inc.	1.5
組入銘柄数		257銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

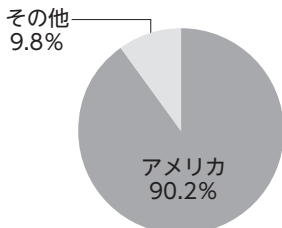
(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理费率(年率)(%)		0.85

・運用管理费率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

■国・地域別配分

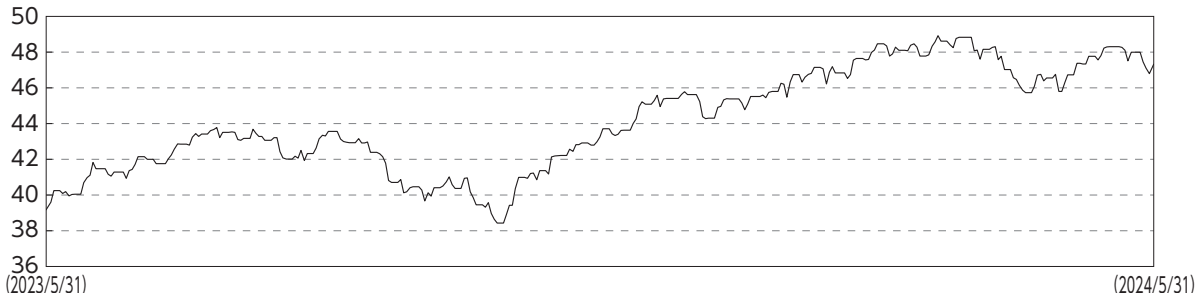


- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. アライアンス・バースタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	9.5
2	Mastercard, Inc. - Class A	9.5
3	Amazon.com, Inc.	8.7
4	Charles Schwab Corp. (The)	5.8
5	Constellation Brands, Inc. - Class A	5.2
6	Cooper Cos., Inc. (The)	5.0
7	Automatic Data Processing, Inc.	4.8
8	Eaton Corp. PLC	4.7
9	American Tower Corp.	4.6
10	Zoetis, Inc.	4.4
組入銘柄数		21銘柄

■1万口当たりの費用明細

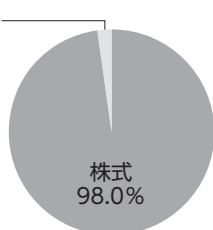
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

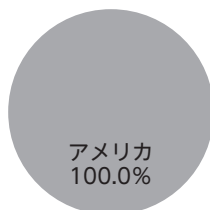
■費用明細 (2024年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

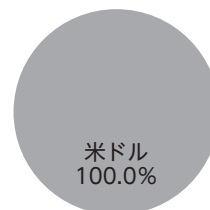
■資産別配分

現金等
2.0%

■国・地域別配分

アメリカ
100.0%

■通貨別配分

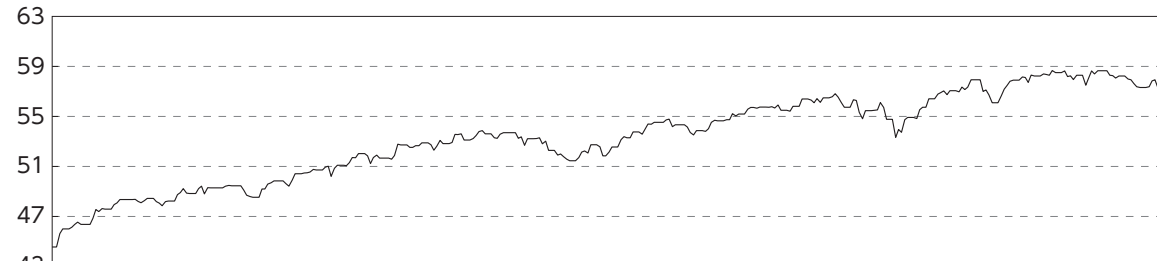
米ドル
100.0%

- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



(2023/10/31)

(2024/10/31)

■組入上位10銘柄

(2024年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Alphabet Inc (Class C)	7.4
2	Microsoft Corp	7.0
3	Oracle Corp	5.9
4	Mastercard Inc	5.9
5	Linde PLC	5.7
6	KLA Corp	5.1
7	Waste Management Inc	4.6
8	Booking Holdings Inc	4.5
9	Costco Wholesale Corp	4.5
10	Arthur J Gallagher & Co	4.4
	組入銘柄数	26銘柄

■1万口当たりの費用明細

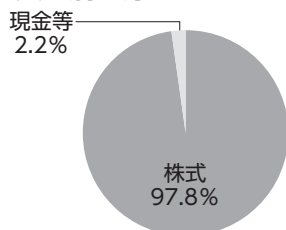
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

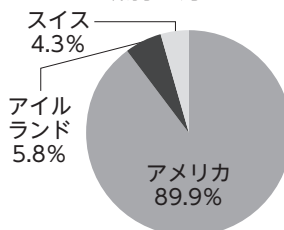
■費用明細 (2024年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

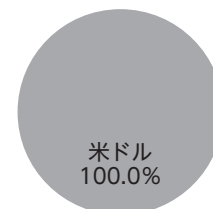
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



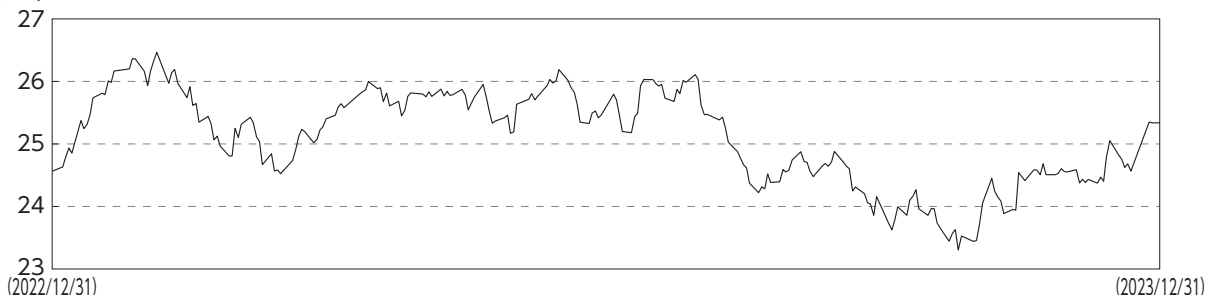
- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

(旧名称：FSSAアジア・フォーカス・ファンド)

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	6.5
2	Samsung Electronics Co Ltd Pfd NV	5.4
3	China Mengniu Dairy Co., Ltd.	5.3
4	Colgate-Palmolive (India) Limited	4.9
5	Sony Group Corporation	4.6
6	CSL	4.6
7	ICICI Bank Limited	4.2
8	Singapore Telecommunications LTD	4.0
9	Uni-President China Holdings Ltd.	3.8
10	PT Unilever Indonesia Tbk	3.2
	組入銘柄数	43銘柄

■1万口当たりの費用明細

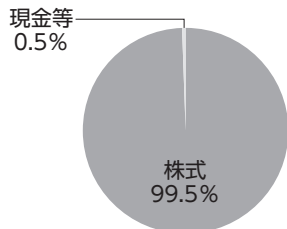
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

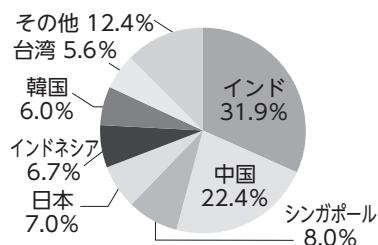
■費用明細 (2023年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

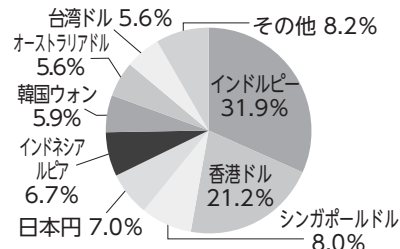
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分

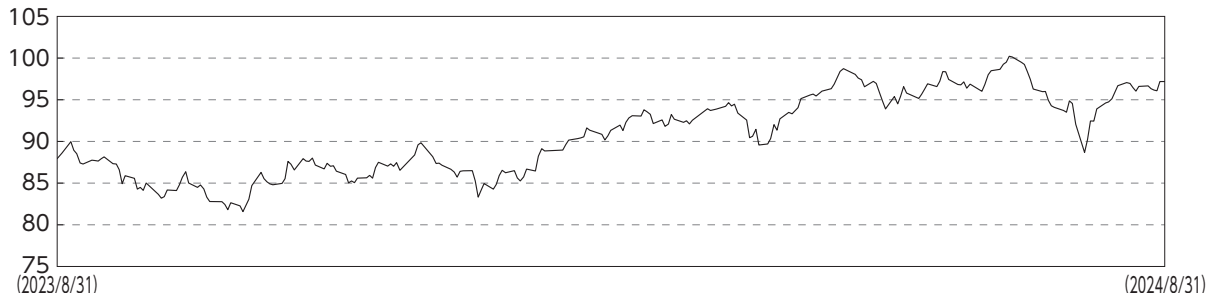


・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

5. フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	7.9
2	Samsung Electronics Co Ltd	6.1
3	Tencent Holdings Ltd	5.2
4	Infosys Ltd	3.5
5	State Bank Of India	3.4
6	Bajaj Auto Ltd	3.1
7	Aldar Properties Pjsc	2.8
8	Mercadolibre Inc	2.7
9	Kia Corp	2.2
10	Bank Mandiri Persero Tbk Pt	2.2
組入銘柄数		53銘柄

■1万円当たりの費用明細

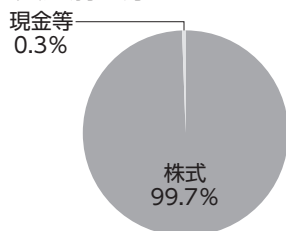
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

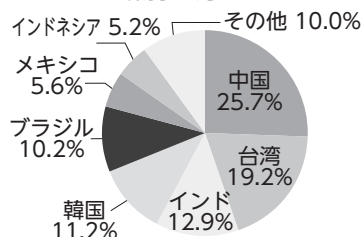
■費用明細 (2024年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

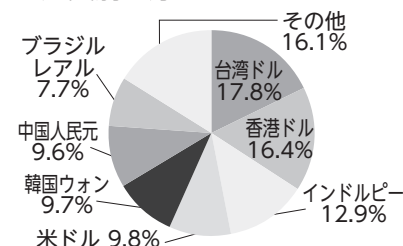
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

6. スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

(旧名称：スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンド)

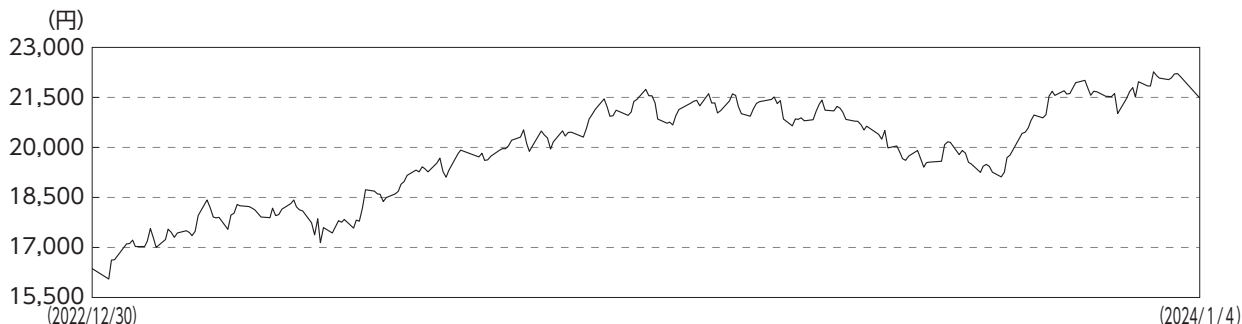
当ファンドは組入後の初回決算を迎えていないため、運用状況を記載していません。

7. フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロース

当ファンドは組入後の初回決算を迎えていないため、運用状況を記載していません。

8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年12月31日～2024年1月4日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	177円 (110) (55) (11)	0.89% (0.56) (0.28) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	1 (1)	0.01 (0.01)
(c) 有価証券取引税 (株)	4 (4)	0.02 (0.02)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	7 (7) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合計	189	0.96

期中の平均基準価額は19,797円です。

・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年1月4日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

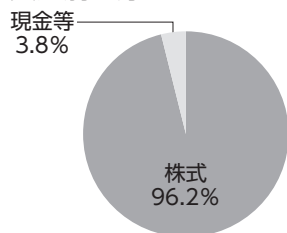
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

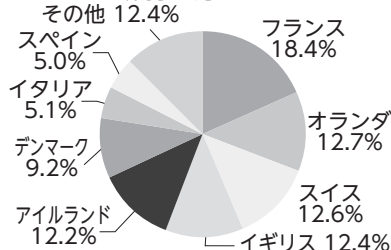
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ASML HOLDING NV	7.7
2	NOVO NORDISK A/S-B	7.6
3	ACCENTURE PLC-CL A	4.6
4	ESSILORLUXOTTICA	4.6
5	LINDE PLC	4.5
6	EXPERIAN PLC	4.0
7	STRAUMANN HOLDING AG-REG	4.0
8	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	3.5
9	ALCON INC	3.5
10	DASSAULT SYSTEMES SE	3.2
組入銘柄数		36銘柄

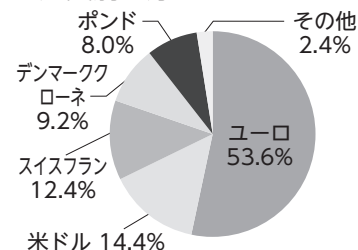
■資産別配分



■国・地域別配分



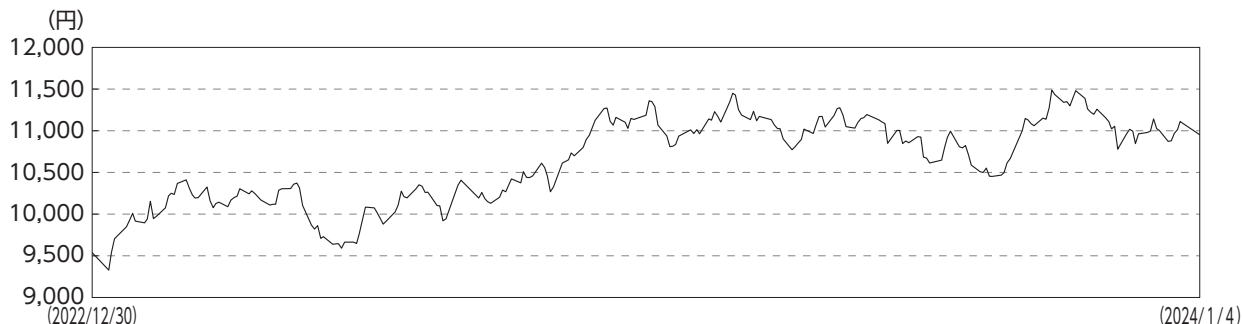
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

9. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年12月31日～2024年1月4日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	106円 (67) (33) (6)	1.00% (0.64) (0.31) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株)	4 (4)	0.04 (0.04)
(c) 有価証券取引税 (株)	4 (4)	0.04 (0.04)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	32 (17) (1) (14)	0.30 (0.16) (0.01) (0.14)
合計	146	1.38

期中の平均基準価額は10,606円です。

・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

・その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年1月4日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

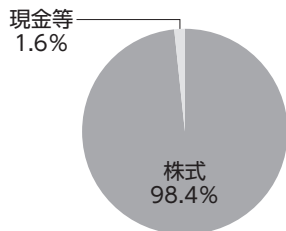
— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■組入上位10銘柄

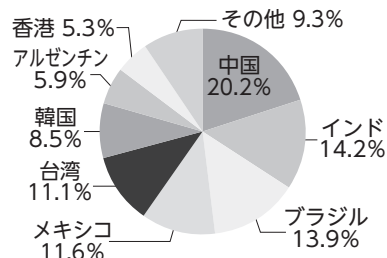
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	6.4
2	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	6.3
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	5.6
4	MERCADOLIBRE INC	4.9
5	HDFC BANK LIMITED	4.9
6	DELTA ELECTRONICS INC	4.7
7	Wal Mart de Mexico SAB de CV	4.3
8	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	3.8
9	LOCALIZA RENT A CAR	3.7
10	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	3.7
組入銘柄数		37銘柄

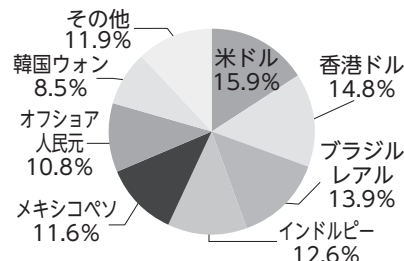
■資産別配分



■国・地域別配分



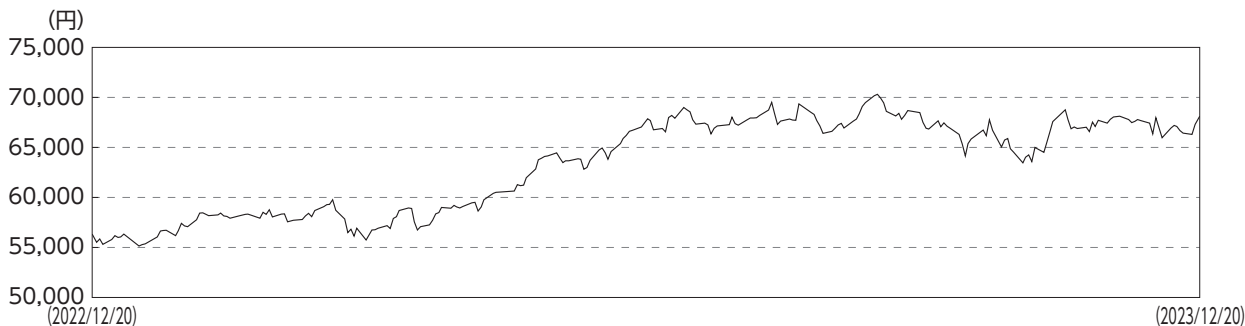
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月21日～2023年12月20日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	522円 (463) (35) (24)	0.82% (0.73) (0.06) (0.04)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.04
(c) そ の 他 費 用	3	0.01
合 計	551	0.87

期中の平均基準価額は63,354円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2023年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

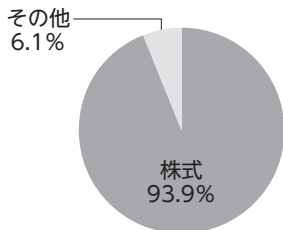
— <ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド —

■組入上位10銘柄

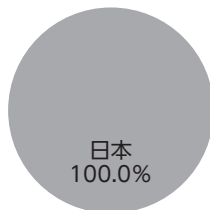
(2023年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	MARUWA	9.2
2	京成電鉄	6.0
3	マックス	6.0
4	東洋炭素	5.7
5	ライフドリンク カンパニー	5.0
6	トーセイ	4.7
7	メック	4.3
8	サイゼリヤ	3.2
9	全国保証	3.1
10	ニチハ	3.1
組入銘柄数		32銘柄

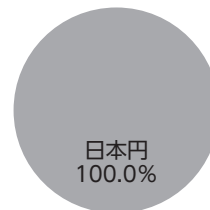
■資産別配分



■国・地域別配分



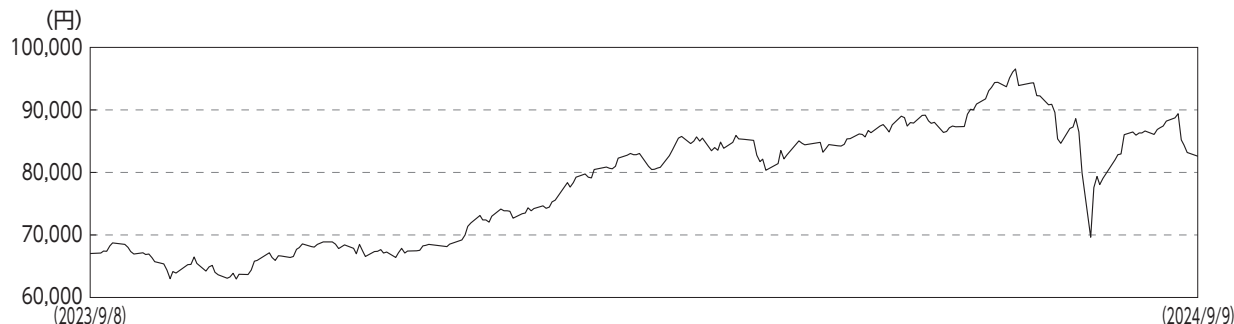
■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年9月9日～2024年9月9日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	697円 (673) (-) (24)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売買委託手数料	17	0.02
(c) その他費用	3	0.00
合計	717	0.91

期中の平均基準価額は78,987円です。

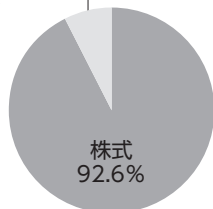
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入上位10銘柄

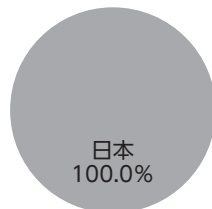
(2024年9月9日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	セブン&アイ・ホールディングス	10.0
2	オリックス	9.9
3	日立製作所	8.3
4	リクルートホールディングス	6.8
5	ソニーグループ	6.4
6	三菱UFJフィナンシャル・グループ	6.0
7	三菱商事	5.4
8	信越化学工業	5.4
9	東京海上ホールディングス	5.1
10	ルネサスエレクトロニクス	4.1
組入銘柄数		21銘柄

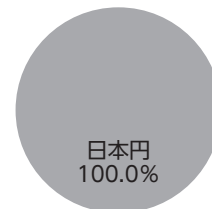
■資産別配分

その他
7.4%

■国・地域別配分



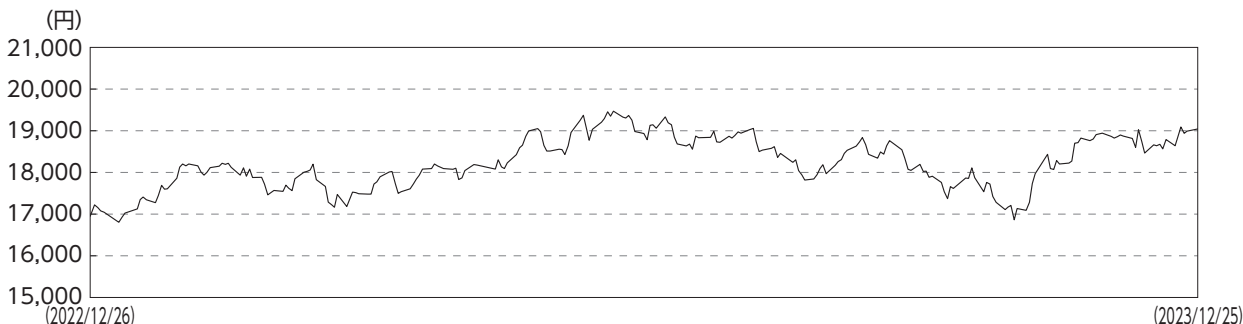
■通貨別配分



- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月27日～2023年12月25日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	155円 (100) (50) (6)	0.85% (0.55) (0.27) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.03 (0.03)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.00 (0.00) (0.00)
合 計	161	0.89
期中の平均基準価額は18,146円です。		

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2023年12月25日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

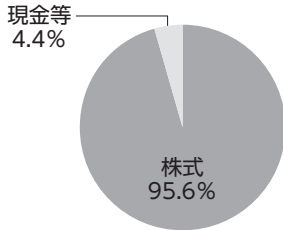
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

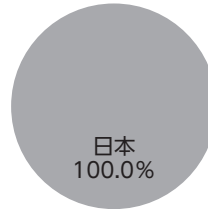
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	信越化学工業	4.2
2	レーザーテック	4.2
3	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	4.1
4	ソニーグループ	4.0
5	ファーストリテイリング	3.5
6	キーエンス	3.4
7	第一生命ホールディングス	3.3
8	神戸物産	3.3
9	ダイフク	3.3
10	東京エレクトロン	3.2
組入銘柄数		40銘柄

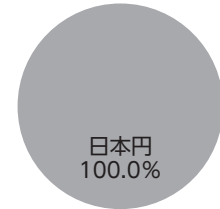
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 2 号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング) システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間 3 年、5 年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドに LSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.com をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザーアワード[「新NISA成長投資枠」WA優秀ファンド賞]は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

新NISA成長投資枠「WA 優秀ファンド賞」については、https://www.wealthadvisor.co.jp/event/wa_award2023/ をご覧ください。

当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2023年12月29日における『NISA 成長投資枠登録のアクティブファンド』を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。セゾン資産形成の達人ファンドが選出された国際株式型(グローバル)部門は、選考対象ファンドのうち、同年11月末において当該部門に属するファンド307本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国 Morningstar, Inc. ヘブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。